

諏訪の景気動向

平成27年2月

(平成27年 1月末 D・I調査)

平成27年2月26日

岡谷市郷田二丁目1番8号

諏 訪 信 用 金 庫

経営相談室

諏訪地方の景気動向（平成 27 年 1 月末調査）

「平成 27 年 1 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

【概況】 諏訪地方 164 社のご協力を得て行った平成 27 年 1 月末の「景気動向調査(DI調査)」では、回答全社の「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは△16.4 となり、前回調査時(平成 26 年 10 月末、以下同)の△0.6 から、15.8 ポイント悪化した。製造業の業況判断DIは△11.3 と、前回の△0.8 から 10.5 ポイント悪化し、非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIも△32.5 と前回の 0.0 から悪化し、総体的に悪化傾向となった。一方、「3 ヶ月後」の業況予想DIは製造業が 6.4(前回 0.0)と改善し、非製造業も 15.0(前回△23.3)と前回より改善予想が増えている。回答全社でも 8.5(前回△5.8)とプラス水準になっている。「3 ヶ月前」と比べた原材料等への費用負担は、回答全社で 31.1%(前回 33.5%)の企業が上昇したとしている。

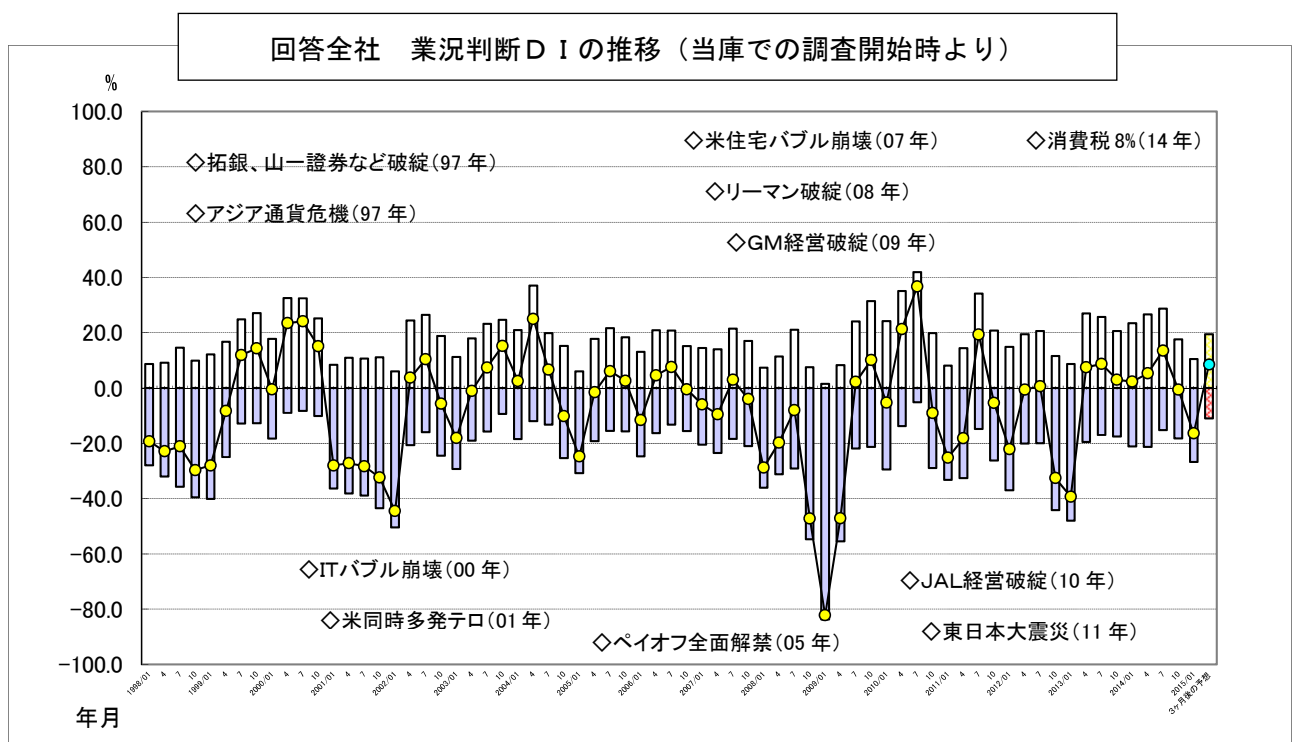
製造業の業況判断DIは、「3 ヶ月前」比で△11.3 と前回調査時の△0.8 から悪化し、「前年同期」比も 0.8 で、前回の 7.9 から悪化した。「3 ヶ月後」の予想は 6.4 で前回の 0.0 より改善している。受注状況DIは「3 ヶ月前」比で△9.7 と前回の△2.4 から悪化し、「前年同期」比も前回の 11.0 から 0.8 と悪化しているが、「3 ヶ月後」の予想は前回の 1.6 から 7.3 へと改善している。また、収益性DIは「3 ヶ月前」比が前回の△13.4 から△22.5、「前年同期」比は△7.8 から△12.9 へと悪化しているが、「3 ヶ月後」の予想は前回の△8.8 から△3.2 と改善予想が多くなっている。円安による原材料価格上昇などで費用負担を感じる企業は、前年同期に比べ 46.0%(前回 48.8%)、「3 ヶ月前」との比較でも 33.9%(前回 36.2%)と相変わらず多いが、原油価格の下落などもあって「3 ヶ月後」は、費用負担の上昇を予想する企業は 26.6%(前回 33.3%)とやや減少している。

商業の大型店を中心とした業況判断DIは、「3 ヶ月前」と比べて前回の 0.0 から△45.4 へ大幅悪化したが、「前年同期」比では前回の△27.2 から 0.0、「3 ヶ月後」の予想も前回の△54.5 から 9.1 へ改善している。来店客数DIは「3 ヶ月前」比と「前年同期」比が 0.0 から△54.5 と悪化した。天候不順や商品値上げの影響と見られる。「3 ヶ月後」は前回の△45.5 から△18.2 と改善傾向となっている。また、収益性DIは「3 ヶ月前」比と「前年同期」比は 0.0 だが、「3 ヶ月後」は前回の△36.4 から 18.2 となり好転予想が多くなっている。消費増税の影響は徐々に薄れつつあるものの、「3 ヶ月前」比で 81.8%の企業が「多少」または「多大」と感じている。ただ、「3 ヶ月後」は「多大」と予想する企業は少ない。自動車販売は、諏訪地方の 1 月の車庫証明件数(軽自動車除く)が 797 件で、前年同月比では 204 件減少(△20.4%)した。前月比では 23 件増加(3.0%)した。

観光・サービス業は、「3 ヶ月前」と比べ、業況判断DIは季節要因もあり△42.1 で、前回調査時の△4.8 から大幅悪化した。宿泊客数DIも同様に悪化し、客単価DIは前回の 9.6 から△36.8 へ悪化した。引き続き、消費増税の影響を感じている企業も多い。「前年同期比」では、宿泊客数DIが△5.2 でやや減少したが、業況判断DIは 21.1 と改善しており、施設によって格差が見られる。仕入れ材料などの費用負担は 36.8%の企業が前年より上昇したとしている。一方、「3 ヶ月後」は、スキー場が好調で、外国人観光客も増加していることなどから、業況予想DIが31.6 で前回の△19.1 より大幅改善し、宿泊客数予想DIも 31.6 と前回の△23.9 から改善した。客単価予想DIも 10.5 と前回の△19.1 から改善している。

建設業の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて横ばいの企業が多いが、0.0と前回調査時の9.1から悪化している。「3ヶ月後」の予想は△10.0で前回の0.0より悪化した、ほとんどの企業が横ばいと見ている。受注状況DIは、「3ヶ月前」比は△20.0で前回の0.0から悪化し、「前年同期」比でも△30.0で悪化が好転を上回っている。「3ヶ月後」の予想は△20.0で前回の△9.1から悪化幅が広がっている。諏訪地方の平成26年12月の新設住宅着工戸数は81戸で、前年同月比97戸減少(△54.5%)した。平成26年4月～12月の累計着工戸数は803戸で、前年同期累計比329戸減少(△29.1%)した。平成27年1月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は9件45百万円だった。平成26年4月～平成27年1月の累計は121件、5,064百万円で、前年同期累計に比べて22件減少したが、金額は256百万円、5.3%の増加となった。平成27年1月の市町村からの受注工事は合計36件、170百万円で、前年同月比6.1%減少した。

雇用状況は、平成26年12月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を0.07ポイント上回り、前月を0.01ポイント上回る1.05倍となった。一昨年6月から19ヶ月連続で前年を上回っている。長野県は1.16倍で、全国は1.15倍となった。全国は3ヶ月連続の改善で22年9ヶ月ぶりの高水準となっている。長野県は6ヶ月連続で全国を上回っている。また、昨年1年間の県内有効求人倍率は1.09倍で、リーマン・ショック前年以来、7年ぶりに1倍台を回復した。諏訪地方は、新規求人数(全数)が1,343人で前年同月比95人増加(7.6%)し、新規求職者数は786人で前年同月比83人減少(△9.6%)している。産業別の前年同月比の新規求人数は、生活関連サービス・娯楽業で100%、建設業で26.9%増加し、製造業で18.7%減少した。求人の要因別では「欠員補充」「創業・新分野展開」「業務量増大」が増加し、「継続する人員不足」が減少した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は68人で、前年同月より3人減少し、前月より27人増加した。求人、求職ともやや停滞感が出ている。



業況判断DIの推移「3ヶ月前と比較して」

回答全社(164 社)の「3ヶ月前」と比した業況判断DIは、「好転」企業が 10.4%、「横這」企業が 62.8%、「悪化」企業が 26.8%で△16.4 と、前回調査時の△0.6 から 15.8 ポイント悪化した。前回に比べて、製造業は、「好転」企業が 16.5%から 10.5%へ減少し、「悪化」企業は 17.3%から 21.8%へ増加した。非製造業は「好転」企業が 20.9%から 10.0%へ減少し、「悪化」企業が 20.9%から 42.5%へ増加した。製造業では、取引先企業の在庫調整の影響があり、非製造業では観光業の冬季の季節要因に加え、消費増税の影響が残る中で、天候不順や商品の値上げによる来客数の減少などが要因と見られる。回答全社では 3ヶ月前より、31.1%の企業が費用負担が上昇している。

産業別業況表

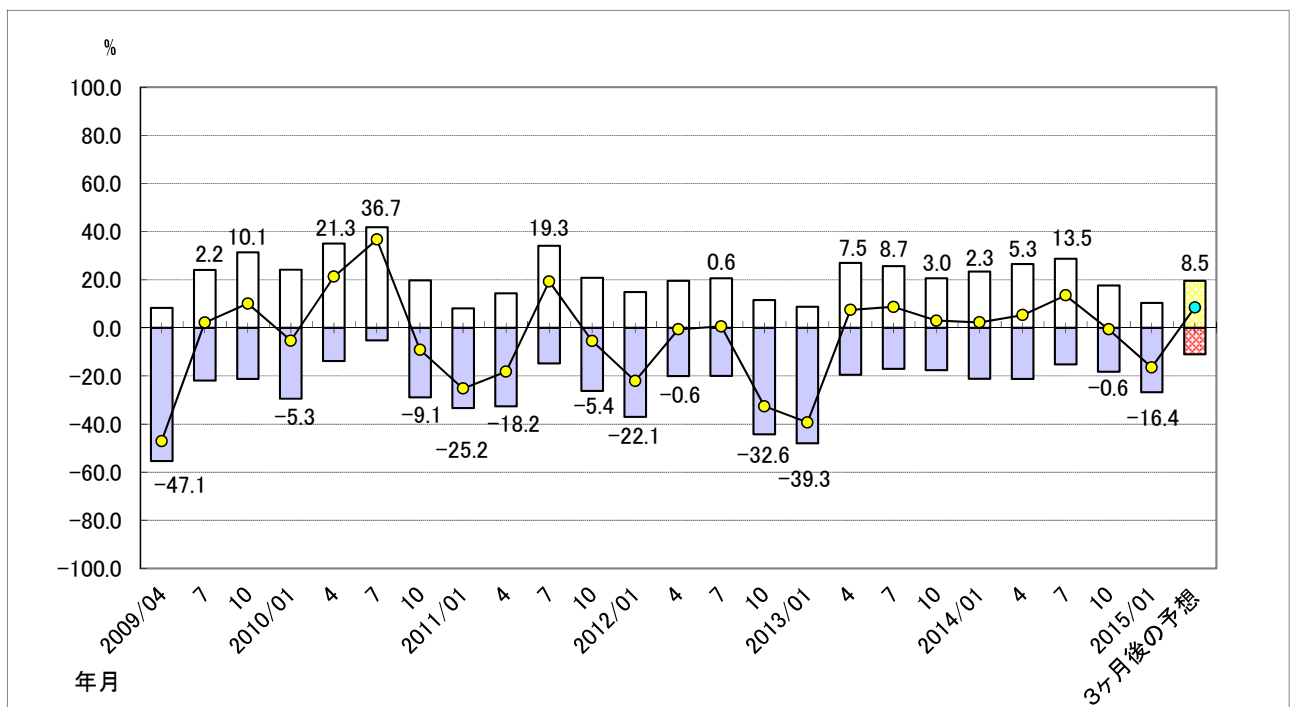
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全 体	164	10.4	62.8	26.8	-16.4	164	26.2	50.0	23.8	2.4	164	19.5	69.5	11.0	8.5
製造業	124	10.5	67.7	21.8	-11.3	124	26.6	47.6	25.8	0.8	124	16.9	72.6	10.5	6.4
非製造業	40	10.0	47.5	42.5	-32.5	40	25.0	57.5	17.5	7.5	40	27.5	60.0	12.5	15.0
商 業	11	9.1	36.4	54.5	-45.4	11	36.4	27.3	36.4	0.0	11	27.3	54.5	18.2	9.1
建設業	10	0.0	100.0	0.0	0.0	10	0.0	90.0	10.0	-10.0	10	0.0	90.0	10.0	-10.0
観光・サービス	19	15.8	26.3	57.9	-42.1	19	31.6	57.9	10.5	21.1	19	42.1	47.4	10.5	31.6

自社業況判断DIの推移

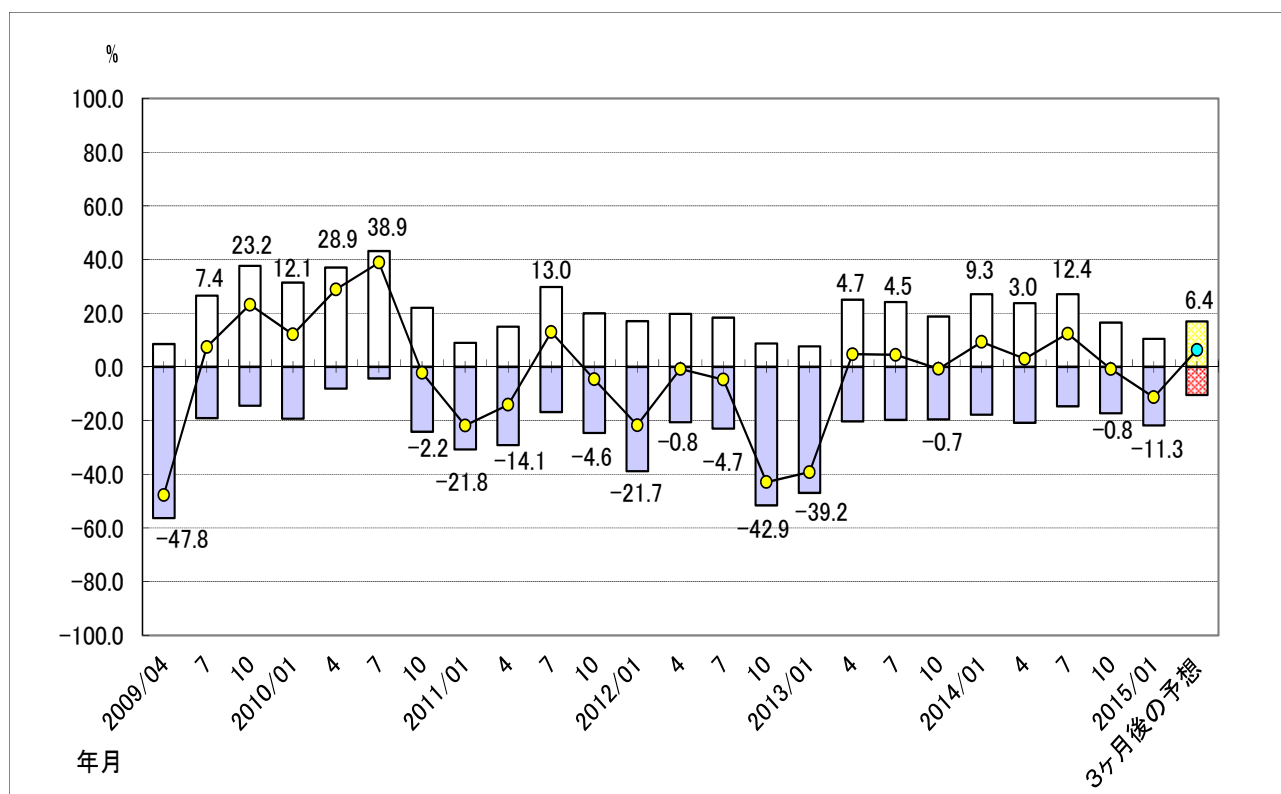
● 回答全社:「3ヶ月前」と比した業況判断DIの推移

グラフ-1



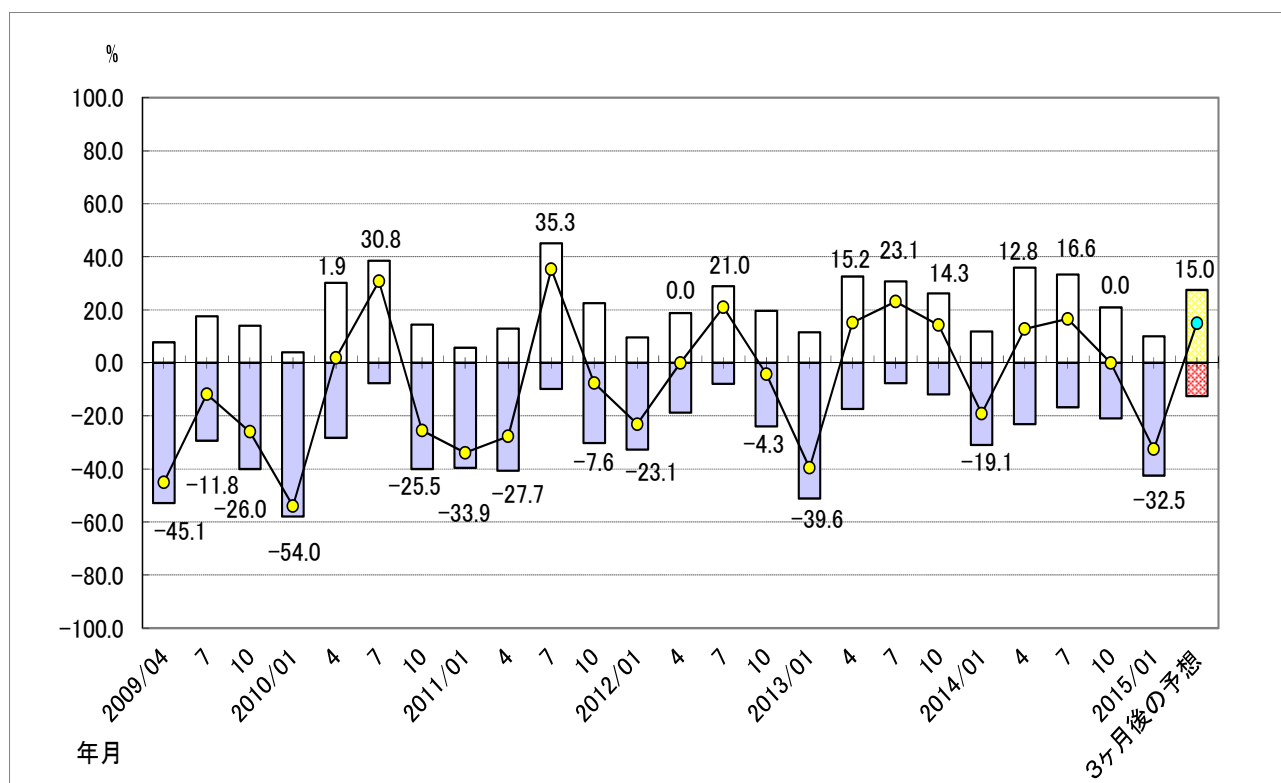
●製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産業別景気動向

1.製造業

業況判断DIは、業種によって格差はあるが、総体的に「3ヶ月前」比で△11.3と前回調査時の△0.8から10.5ポイント悪化した。「前年同期」比も0.8で、前回の7.9から7.1ポイント悪化した。ただ、「3ヶ月後」の予想は6.4で、前回の0.0から改善した。

受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて△9.7と前回の△2.4から7.3ポイント悪化した。「前年同期」比は0.8で前回の11.0から10.2ポイント悪化している。「3ヶ月後」の予想DIは7.3と、前回の1.6から5.7ポイント改善している。

収益性DIは、「3ヶ月前」比で△22.5と前回の△13.4から9.1ポイント悪化し、「前年同期」比でも前回の△7.8から△12.9へ5.1ポイント悪化した。「3ヶ月後」の予想は△3.2で、前回の△8.8より5.6ポイント改善した。円安の影響で、原材料の高止まりが収益を圧迫するという企業は多い。費用負担は3ヶ月前比で33.9%、前年同期比で46.0%の企業が上昇している。3ヶ月後も26.6%の企業が上昇すると予想している。

消費増税の影響は、「3ヶ月前」と比べて「多少」とする企業が56.5%（前回62.2%）、「多大」とする企業が4.8%（前回9.4%）あり、徐々に影響が薄れている。「3ヶ月後」の予想では「多少」が61.3%（前回61.1%）、「多大」が4.0%（前回11.9%）となっている。

業種別（主要5業種）の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「電気機械」が0.0（同△12.0）と改善しているものの、「金属製品」が△30.8（前回0.0）、「一般機械」は△3.0（同5.9）、「輸送用機械」は△13.4（同0.0）、「精密機械」が0.0（同7.7）と悪化した。「前年同期」比では「精密機械」が21.5（同7.7）と改善し、「金属製品」は15.4（同21.5）、「一般機械」は9.1（同14.7）、「輸送用機械」は0.0（同21.4）、「電気機械」が0.0（同16.0）と悪化している。「3ヶ月後」の予想DIは、「電気機械」が4.4（同16.0）、「輸送用機械」は△6.6（同7.2）と悪化傾向だが、「金属製品」は23.1（同7.2）、「一般機械」が12.2（同△11.7）、「精密機械」が7.2（同△15.4）と好転予想が上回っている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

		3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
		回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
製造業		124	10.5	67.7	21.8	-11.3	124	26.6	47.6	25.8	0.8	124	16.9	72.6	10.5	6.4
規模	1～29人	65	6.2	70.8	23.1	-16.9	65	23.1	44.6	32.3	-9.2	65	12.3	73.8	13.8	-1.5
	30～99人	37	13.5	64.9	21.6	-8.1	37	32.4	48.6	18.9	13.5	37	24.3	70.3	5.4	18.9
	100人～	22	18.2	63.6	18.2	0.0	22	27.3	54.5	18.2	9.1	22	18.2	72.7	9.1	9.1
分類	金属製品製造業	13	0.0	69.2	30.8	-30.8	13	30.8	53.8	15.4	15.4	13	23.1	76.9	0.0	23.1
	一般機械器具製造業	33	15.2	66.7	18.2	-3.0	33	33.3	42.4	24.2	9.1	33	15.2	81.8	3.0	12.2
	電気機械器具製造業	23	21.7	56.5	21.7	0.0	23	34.8	30.4	34.8	0.0	23	17.4	69.6	13.0	4.4
	輸送用機械器具製造業	15	13.3	60.0	26.7	-13.4	15	26.7	46.7	26.7	0.0	15	6.7	80.0	13.3	-6.6
	精密機械器具製造業	14	7.1	85.7	7.1	0.0	14	28.6	64.3	7.1	21.5	14	14.3	78.6	7.1	7.2

①諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

●金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて $\Delta 30.8$ で、前回調査時の0.0から大幅悪化した。「前年同期」比は15.4で前回の21.5より悪化している。「3ヶ月後」の予想は23.1で前回の7.2から15.9ポイント改善している。短納期、小ロットの傾向の中で、回復基調が続く企業の一方で、増加傾向だった取引先の受注が一服した企業や受注間隔が開く企業などがあり、取引先の状況によって格差が見られる。

●一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて $\Delta 3.0$ で、前回の5.9から8.9ポイント悪化した。「前年同期」比でも9.1(前回14.7)と悪化しているが、「3ヶ月後」の予想は12.2で前回の $\Delta 11.7$ から大幅改善している。急激な原材料高で収益率が低下している企業もあるが、設備投資の増加に伴い、各種検査機などは増加傾向となっている。海外向けの自動車関連やスマートフォン向けで増産が予定されている企業もある。

●電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「好転」企業と「悪化」企業が同数で0.0と前回の $\Delta 12.0$ から改善した。「前年同期」比では0.0で、前回の16.0より悪化した。また、「3ヶ月後」の予想は4.4でプラス水準だが、前回の16.0より悪化した。欧州や中国の景気減速で在庫調整の影響を受ける企業の一方、情報機器関連部品や自動車向けエアコン部品などで好調な企業がある。

●輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて悪化企業が多く $\Delta 13.4$ で、前回の0.0からは悪化した。「好転」企業が前回の7.1%から13.3%に増加したが、「悪化」企業も7.1%から26.7%に増加している。「前年同期」比は0.0で、前回の21.4から悪化した。「3ヶ月後」の予想は $\Delta 6.6$ で前回の7.2から悪化している。メーカーによって国内向け自動車部品などに生産調整があり、今後の推移を様子見の状況となっている。

●精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて0.0で、前回の7.7から悪化した。85.7%の企業が横ばいとなっている。「前年同期」比も21.5で前回の7.7から改善した。また、「3ヶ月後」の予想も7.2で前回の $\Delta 15.4$ から改善した。78.6%の企業が横ばいと見ている。レンズ関連は海外向けが動き、国内向けは停滞している。研究機関向けレーザー用レンズや医療機器用レンズ、監視カメラ用レンズは堅調に推移している。

②規模別業況

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べてすべて悪化傾向だった。「1～29人」規模が $\Delta 16.9$ で前回の $\Delta 3.0$ から悪化し、「30～99人」規模も $\Delta 8.1$ で前回の0.0より悪化、「100人以上」規模も0.0で前回の4.8から悪化した。「前年同期」比は「30～99人」規模が13.5で前回の5.2から改善したが、「1～29人」規模が $\Delta 9.2$ で前回の4.5から悪化し、「100人以上」規模も9.1で前回の23.8より悪化した。「3ヶ月後」の予想は、

「1～29 人」規模が△1.5 で前回の△11.9 より改善し、「30～99 人」規模も 18.9 で前回の 10.2 より改善したが、「100 人以上」規模は 9.1 で前回の 19.1 より悪化した。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3 ヶ月前」と比べて受注状況DIは、「増加」企業 16.1%、「減少」企業 25.8%で△9.7 と、前回調査時の△2.4から悪化している。「前年同期」比でも前回の 11.0から0.8と悪化した。「3 ヶ月後」の予想は「増加」企業 20.2%、「減少」企業 12.9%の 7.3 で、前回の 1.6 から改善している。

規模別の受注状況DIは、「3 ヶ月前」と比べて「1～29 人企業」は△20.0 で、前回の△9.0 から悪化した。「30～99 人企業」も 0.0 で、前回の 5.1 から悪化した、「100 人以上企業」は 4.6 で前回の 4.7 とほぼ同様に推移した。「前年同期」比では全て悪化傾向となり、「1～29 人企業」が△10.8 で前回の 5.9 から悪化し、「30～99 人企業」は 8.1 で前回の 10.3 から悪化、「100 人以上企業」は 22.7 で前回の 28.6 から悪化している。「3 ヶ月後」の予想は改善傾向で、「1～29 人企業」が△3.1 で前回の△10.5 から改善し、「30～99 人企業」は前回の 15.4 から 16.2 とやや改善した。「100 人以上企業」も 22.7 で前回の 14.3 から改善した。

業種別(主要 5 業種)で「3 ヶ月前」比は、「一般機械」と「精密機械」は 0.0 で前回と同様で、「電気機械」が前回の 0.0 から△4.3 へ悪化した。「輸送用機械」は 7.2 から△6.7 へ悪化、「金属製品」も 0.0 から△23.1 とそれぞれ悪化した。「前年同期」比は「一般機械」が前回の 20.6 から 9.1、「電気機械」は 20.0 から△8.7、「精密機械」は 7.7 から 7.2、「輸送機械」は 35.8 から 20.0、「金属製品」は 21.5 から 7.7 とそれぞれ悪化した。「3 ヶ月後」の予想は「一般機械」が 12.1 で前回の△11.8から改善し、「精密機械」は△7.7から0.0、「金属製品」は 21.5 から 30.8 へ改善している。一方、「電気機械」は 20.0 から 8.7、「輸送用機械」は 0.0 から△6.7 へ悪化している。

総体的に、足元の受注状況はやや停滞気味で、「3 ヶ月前」と「前年同期」が悪化傾向となっているが、取引先との話の中で、今後の増産計画がある企業もあり「3 ヶ月後」が改善傾向となっている。

業種別・規模別受注状況表

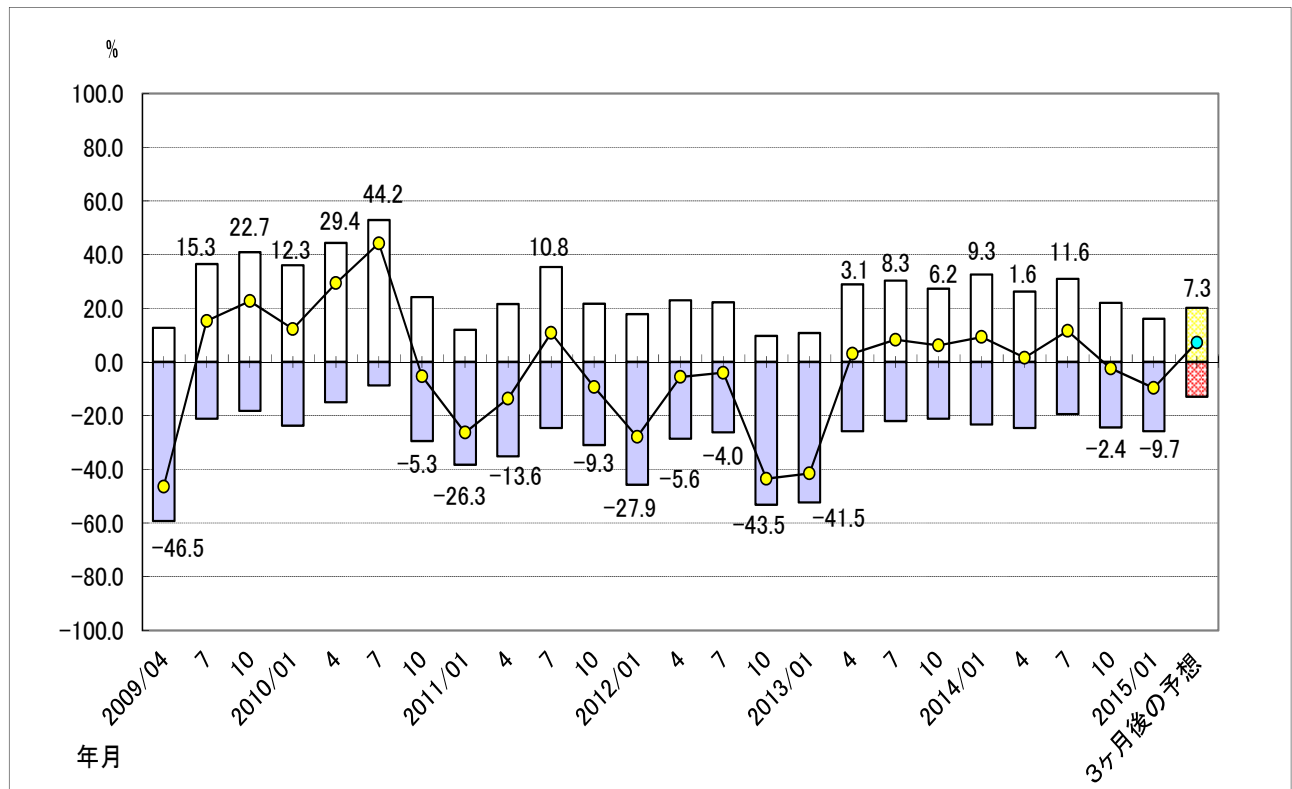
表－3

		3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
		回答 企業	増加	不変	減少	DI	回答 企業	増加	不変	減少	DI	回答 企業	増加	不変	減少	DI
製造業		124	16.1	58.1	25.8	-9.7	124	25.8	49.2	25.0	0.8	124	20.2	66.9	12.9	7.3
規模	1～29人	65	12.3	55.4	32.3	-20.0	65	21.5	46.2	32.3	-10.8	65	16.9	63.1	20.0	-3.1
	30～99人	37	21.6	56.8	21.6	0.0	37	29.7	48.6	21.6	8.1	37	24.3	67.6	8.1	16.2
	100人～	22	18.2	68.2	13.6	4.6	22	31.8	59.1	9.1	22.7	22	22.7	77.3	0.0	22.7
中分類	金属製品 製造業	13	0.0	76.9	23.1	-23.1	13	23.1	61.5	15.4	7.7	13	30.8	69.2	0.0	30.8
	一般機械 器具製造業	33	21.2	57.6	21.2	0.0	33	33.3	42.4	24.2	9.1	33	18.2	75.8	6.1	12.1
	電気機械 器具製造業	23	26.1	43.5	30.4	-4.3	23	26.1	39.1	34.8	-8.7	23	21.7	65.2	13.0	8.7
	輸送用機械 器具製造業	15	20.0	53.3	26.7	-6.7	15	33.3	53.3	13.3	20.0	15	13.3	66.7	20.0	-6.7
	精密機械 器具製造業	14	14.3	71.4	14.3	0.0	14	28.6	50.0	21.4	7.2	14	21.4	57.1	21.4	0.0

製造業の受注状況DIの推移

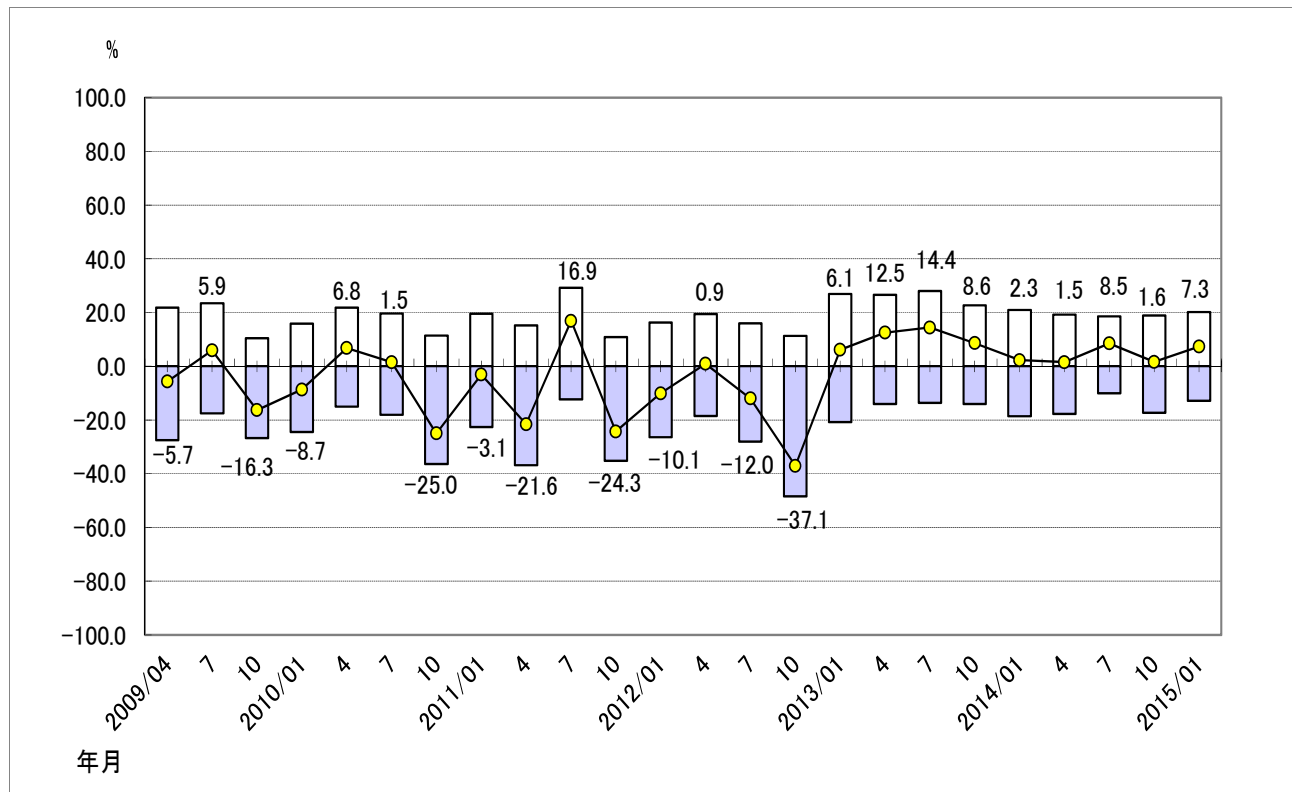
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



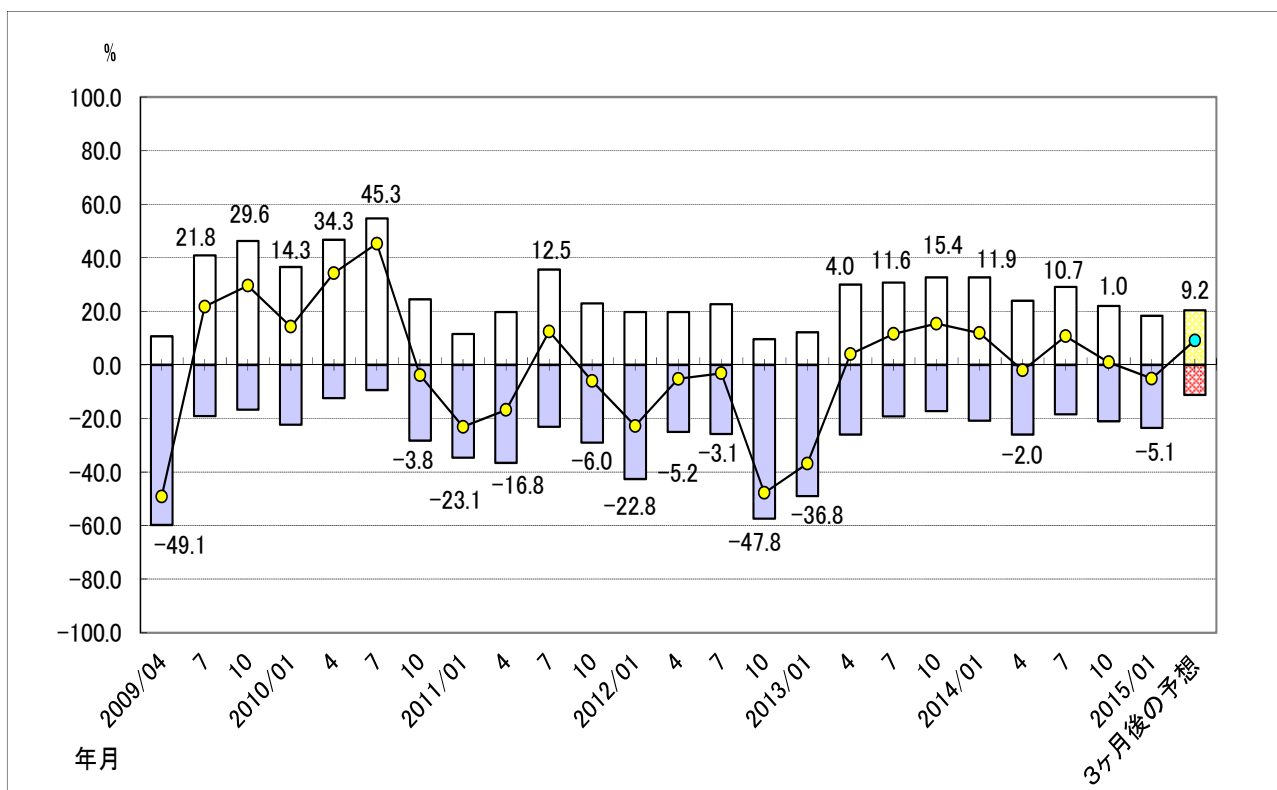
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



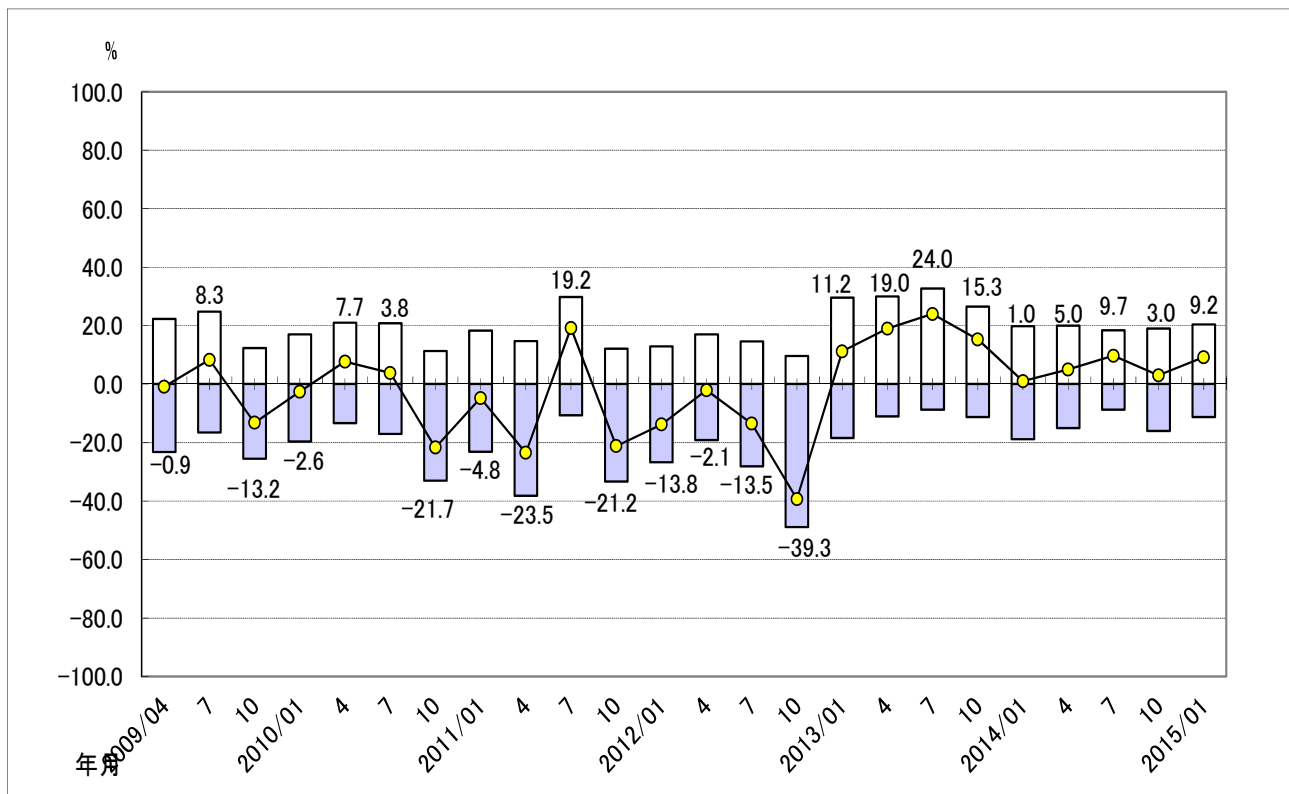
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



2.商業・観光サービス業

①商業

「3ヶ月前」と比べ、大型店を中心とした業況判断DIは△45.4と前回の0.0から大幅悪化した。来店客数DIも△54.5で前回の0.0から悪化し、収益性DIは0.0で前回の9.1から悪化した。一方、「3ヶ月後」の業況予想DIは9.1で「好転」予想が上回り、収益性も好転すると見る企業が増えている。消費増税の影響は「3ヶ月前」に比べ「多大」とする企業は前回の36.4%から18.2%へ減少し、3ヶ月後の予想ではさらに減少している。

- 食料品 食品はインスタントラーメンやコーヒーなど、円安の影響で高いものは100円以上値上がりした。生鮮野菜、肉、鮮魚は年末に高値となったが、例年並みの価格に落ち着いている。
- 衣料品 就職活動で会社説明などの解禁時期が繰り下げられることで、リクルートスーツなどの関連商戦が長期化している。
- 自動車 長野県内の1月の新車新規登録・届出台数は登録車が4,264台となり、前年同月比で6ヶ月連続減少した。軽自動車は4,693台で5ヶ月ぶりに減少した。
- 家電店 洗濯機や冷蔵庫などは低調だが、4Kテレビには動きがあった。
- ホームセンター 降雪が早かったため、除雪、防寒用品、暖房用品が12月中に売れ、反動で1月は低調だった。円安の影響で、洗剤やプラスチック類など輸入関連の日用雑貨が値上がりした。

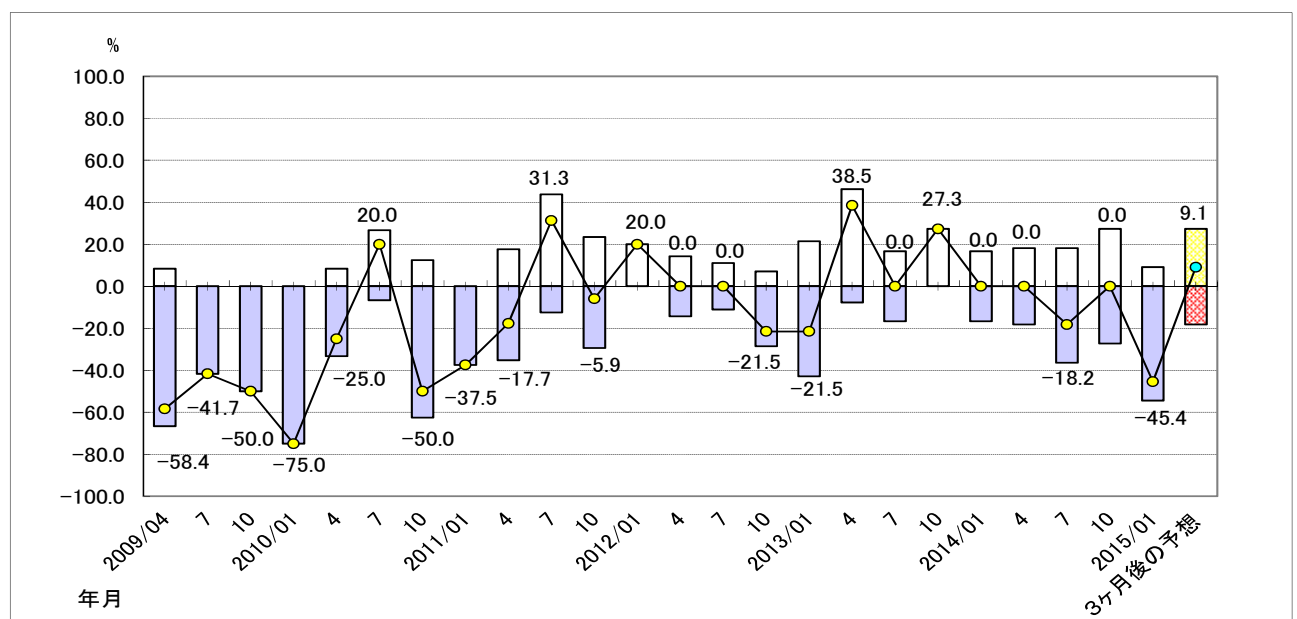
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	11	9.1	36.4	54.5	-45.4	11	36.4	27.3	36.4	0.0	11	27.3	54.5	18.2	9.1
客単価	11	0.0	63.6	36.4	-36.4	11	9.1	54.5	36.4	-27.3	11	0.0	90.9	9.1	-9.1
来店客数	11	0.0	45.5	54.5	-54.5	11	0.0	45.5	54.5	-54.5	11	9.1	63.6	27.3	-18.2

●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



②観光・サービス業

業況判断DIは、「3ヶ月前」比が△42.1 で前回調査時の△4.8 から大幅悪化した。「前年同期」比では、客単価DIが前回の 0.0 から△15.8 へ悪化し、宿泊客数DIも 4.7 から△5.2 へ悪化した。「3ヶ月後」の業況予想DIは31.6で前回の△19.1から大幅改善し、宿泊客数DIも31.6で前回の△23.9から改善した。材料などの費用負担が上昇した企業は、「3ヶ月前」との比較では31.6%で、「3ヶ月後」には47.4%が上昇を予想している。

消費増税の影響は、「3ヶ月前」比で73.7%（前回76.1%）、「3ヶ月後」の予想では79.0%（前回80.9%）の企業が何らかの影響を感じている。

- 上諏訪温泉 大型施設は増加傾向が強く、小型施設は減少傾向が顕著で、1月の宿泊客数は前年同月比 50%台～130%台。例年、冬季は減少する海外旅行客が好調を維持。善光寺御開帳と立山黒部アルペンルートの時期が重なり、予約競争が激しくなっている。
- 蓼科・白樺湖・車山方面ほか スキー場に雪不足の心配がなく週末の好天が続き、スキー関連施設は客足が伸びた。ガソリンの値下げでマイカーの観光客が増加している。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた1月の参拝者数は約39万人と、前年同月比約6千人の減少（△14.3%）となった。

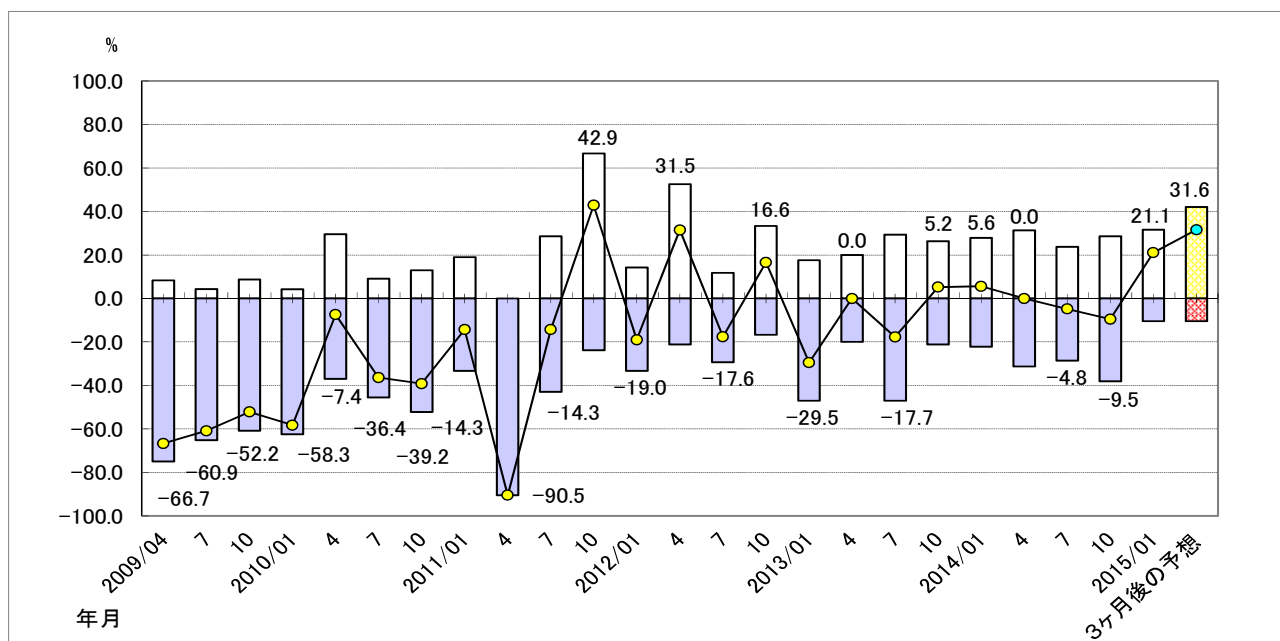
業況、売上、宿泊客

表－5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業 況	19	15.8	26.3	57.9	-42.1	19	31.6	57.9	10.5	21.1	19	42.1	47.4	10.5	31.6
客単価	19	5.3	52.6	42.1	-36.8	19	5.3	73.7	21.1	-15.8	19	10.5	89.5	0.0	10.5
宿泊客数	19	15.8	26.3	57.9	-42.1	19	21.1	52.6	26.3	-5.2	19	42.1	47.4	10.5	31.6

●観光・サービス業全社：「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフー9



3.建設業

業況判断DIは、「3ヶ月前」比で0.0と前回調査時の9.1から悪化し、「前年同期」比では△10.0で前回の△9.1とほぼ同様に推移している。受注状況DIは「3ヶ月前」比で△20.0となり、前回の0.0から減少している。収益性DIの「3ヶ月前」比も△30.0で前回の△9.1から悪化している。「3ヶ月後」の業況予想は△10.0で、前回の0.0から悪化している。

●建築工事

諏訪地方の平成26年12月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市18戸、諏訪市15戸、茅野市31戸、諏訪郡17戸だった。平成26年4月～12月の利用別の前年同期累計比では、貸家が8.7%、持家は26.6%、分譲は58.3%それぞれ減少した。長野県全体の12月の新設住宅着工戸数は1,036戸で、前年同月比12.1%減少した。

●公共工事

平成27年1月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所の9件45百万円だった。市町村からの受注工事は前年同月比で件数は4件増加したが、契約金額では11百万円減少(△6.1%)した。建築工事より、土木、水道関連工事が主体となっている。

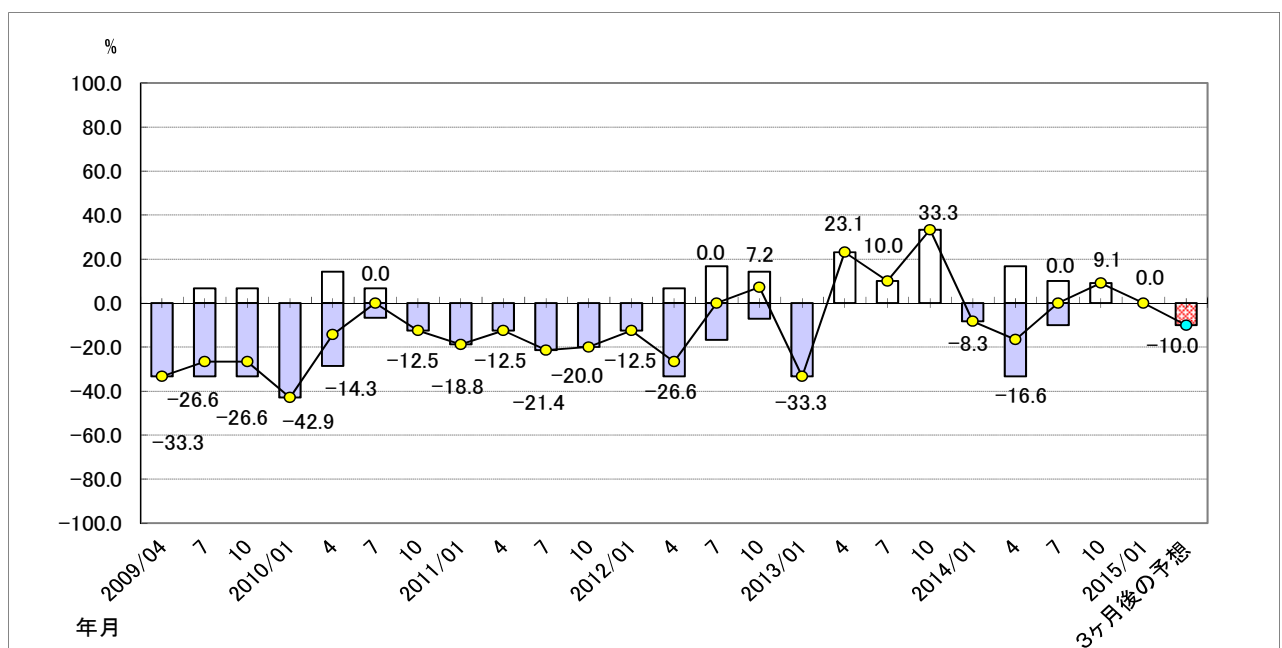
業況、受注状況、外注発注量

表－6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業 況	10	0.0	100.0	0.0	0.0	10	0.0	90.0	10.0	-10.0	10	0.0	90.0	10.0	-10.0
受注状況	10	10.0	60.0	30.0	-20.0	10	0.0	70.0	30.0	-30.0	10	10.0	60.0	30.0	-20.0
外注発注量	10	20.0	60.0	20.0	0.0	10	20.0	60.0	20.0	0.0	10	0.0	80.0	20.0	-20.0

●建設業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ－10



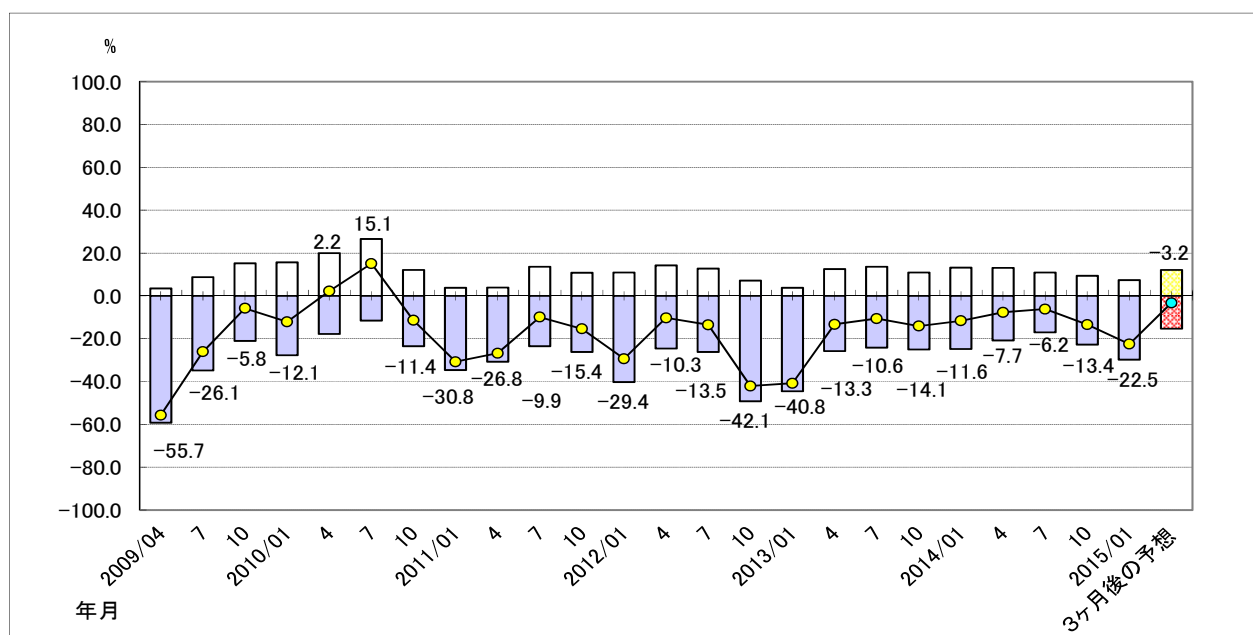
4.収益性状況

回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 8.5%、「悪化」企業 31.1%で、同DIは△22.6 と前回調査時の△10.6から悪化した。「前年同期」比も△10.3で、前回の△7.1から3.2ポイント悪化した。「3ヶ月前」比の製造業は△22.5で前回の△13.4から9.1ポイント悪化し、非製造業は△22.5で前回の△2.3から悪化している。原材料の高騰による収益圧迫の声は依然多い。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が△3.2で前回の△8.8から5.6ポイント改善し、非製造業は2.5で前回の△20.9より改善している。回答全社では△1.8で、前回の△11.8から改善傾向となっている。

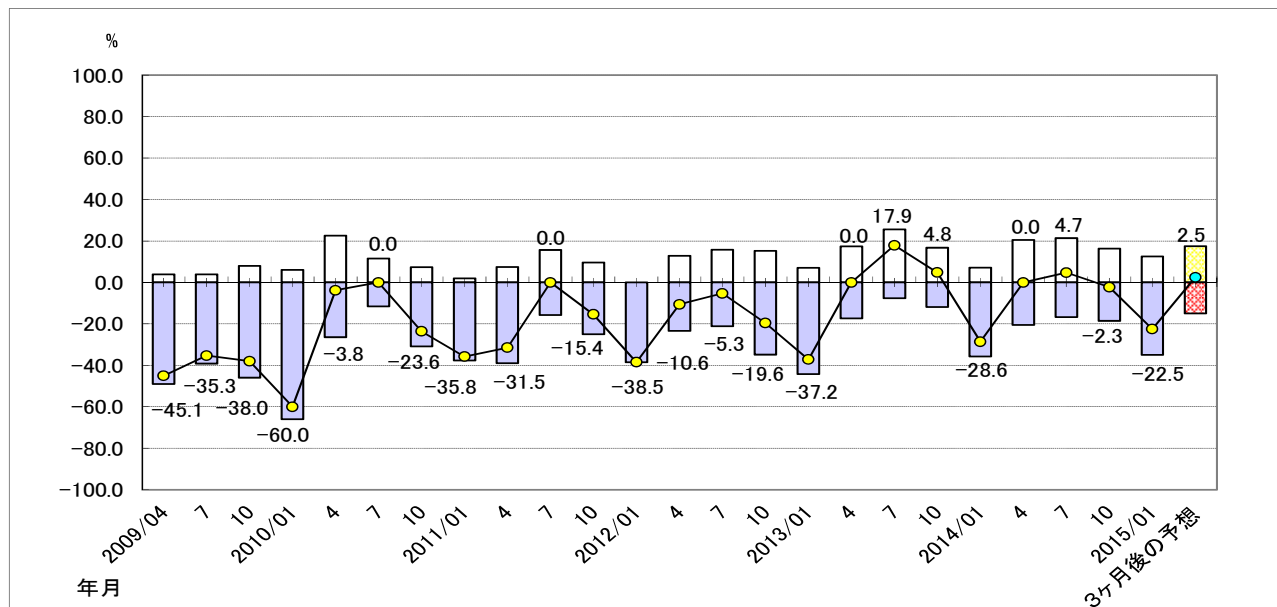
●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は、売上減少と労働力確保②商業(大型店)は、売り上げ減少と競争激化、人件費③建設業は、競争激化と人件費④観光・サービス業は、売上減少と資金繰りとなっている。

経営上の課題	合 計	製 造 業	商 業	建 設 業	観光・サービス業
売 上 減 少	64	48	5	2	9
単 価 引 下 げ	20	18	1	1	0
競 争 激 化	43	33	3	5	2
資 金 繰 り	36	27	2	0	7
人 件 費	27	15	3	4	5
労 働 力 確 保	39	29	2	3	5

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実 数	前年同期比
有効求人倍率【12月】	ハローワーク諏訪	1.05 倍	0.07 ポイント
手形交換高 【1月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	5,358 枚	△1,739 枚
	金 額	6,663 百万円	△3,558 百万円
	うち不渡り 発生状況	枚 数	0 枚
		金 額	0 千円
電力使用量 【1月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	91,326 MWh	1.5 %
	高圧電力計	100,726 MWh	△2.4 %
	合 計	192,052 MWh	△0.6 %
車庫証明取扱件数【1月】(諏訪地方合計)		797 件	△20.4 %
新設住宅着工戸数【H26. 4～26. 12】(諏訪管内)		803 戸	△29.1 %